

熱硬化性プラスチックの 圧縮成形や試作加工に強み

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- メイドインジャパン
- 試作可
小ロット
- 量産対応



プラスチック材料を圧縮成形したサンプル品

業務内容
プラスチック成形加工や、特殊材料の試験成形が得意

熱硬化性プラスチック成形加工や、それに伴う試作品や金型づくりを中心に組み組んでいる。熱硬化性プラスチック材料をもとにして圧縮成形機を用いて、鉄道車両用の制御機器や電力関連向けとなる電気絶縁部品の成形加工を手がける。特殊な材料の試作成形も得意としている。顧客先で開発された素材を使って圧縮成形機で試験品の作成ができる。一方で、顧客のニーズを細かくヒアリングして、3D設計や製品企画提案も積極的に実施する。今村正弘専務は「プラスチック成形のニッチな部分で、存在感を出すことができている」と語る。

強み
耐熱性と絶縁性が高く、社会基盤を支える部品

手がける熱硬化性プラスチック製品は耐熱性が高く、溶け出したりしない特徴がある。このため火災があつた場合も、溶けて消えることがないため、火災原因究明の手がかりになる。電気絶縁性は高く、機械的な強度が強い利点もある。カーボン繊維と複合したCFRP（カーボン繊維強化プラスチック）は、最近では自動車や航空機の軽量化に貢献できる部品として注目されている。こうした社会インフラを支える部品づくりで、きめ細かな要望に応じており、納入先の大手企業から評価を受けている。

開発力
幅広い材料で圧縮成型が可能、産学連携も積極的

エポキシ、フェノール、不飽和ポリエステル、CFRPなど、多品種の熱硬化性プラスチック材料を使って、多様な圧縮成形ができる技術を持つ。特にCFRP成形は技術力が高い。開発については、大阪市工業研究所や近畿大学理工学部との産学連携に積極的に乗り出している。平成26年8月には3Dプリンターも導入して、これまで以上に顧客の満足度を高めたものづくりを実現する。成形材料メーカーや金型メーカーと協業して、プラスチック成形技術のレベルアップにつながる取り組みも始めている。

今後の展望
社会に喜ばれる製品づくりを目指し、人材・技術磨く

これまで磨いてきた開発力をもとにして、コア技術となる熱硬化性プラスチックの圧縮成形で、もう一段階上を目指す。金型づくりで内製化の割合を高めながら、プラスチック成形は設計も含めた一貫生産につなげて、下請けからの脱却を目指す。こうした取り組みを円滑に進めるためにも、人材育成にも地道に向き合い、社会に喜ばれる自社製品をつくることを目標に掲げている。産学連携以外に、地元の高槻市のものづくり交流会では樹脂加工グループに所属する。技術力向上や地域貢献に向けた連携活動にも積極的に参画する。



下請け脱却を目指した人材育成にも力を入れる

COMPANY PROFILE

有限会社 今村化学

大阪 26

当社の歴史

昭和43年に今村製作所として創業し、昭和63年に法人化する時に名称を有限会社今村化学に変更しました。社名の由来はプラスチックや化学製品を扱うことが多かったためです。大手企業の協力工場として、提供されるガラス繊維強化プラスチックなどを主に扱っていました。現在は少しずつ社員数、取引先も増えて、いろいろな素材を取り扱う成形メーカーとして成長しています。

樹脂・プラスチックの成形に関する要望に応えられることを目指しています。

専務取締役 今村 正弘さん



■主な事業内容
熱硬化性プラスチックの成形加工・試作

■主な取引先（納入先）
鉄道車両、電機関連機器メーカーなど

住所／〒569-1034
高槻市大蔵司
2-6-4
TEL／072-688-2708
FAX／072-689-0425
創業／昭和43年6月
設立／昭和63年11月
資本金／300万円
従業員／22名

<http://www.imamurakagaku.com>